



シンボルマークの普及 ～過ごしやすい社会へ～

岡山県立岡山城東高等学校



研究背景

電車の中でよく見かける「ヘルプマーク」
→意味を知っている人がどのくらいいるのか
正しい意味で理解されているか
マークの機能を果たしているのか



先行研究

書籍・論文、インターネットで実態を知る

先行研究で得たこと



「131人の学生に対して「このマークは何を表していると思うか」と尋ねたところ、124人から回答が得られた。多くの者が車いすに関連させた回答内容であり、正解者は0人だった。」

(坂本晃祥、立花直樹 「障害関係シンボルマークに対する大学生の認知に関する一考察」『総合福祉科学研究』第2号、PP.137-152)

先行研究を踏まえての仮説

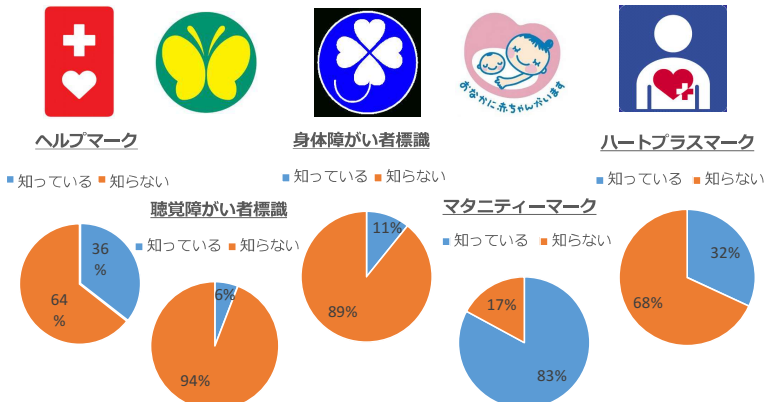
- 正しいマークの意味を知っている人が少ない
- マークによって認知度の差がある

研究の流れ

- マークの認知度を調べる
アンケート①⇒本校2年生に
- マークの定義がそもそも頭に入っているのか
アンケート②⇒本校2年生に
- マークの意味を分かりやすく解説するポスター作成
校内廊下にポスターを掲示
- ポスターでどれほど認知度が上がったかを調査
アンケート③⇒本校2年生に

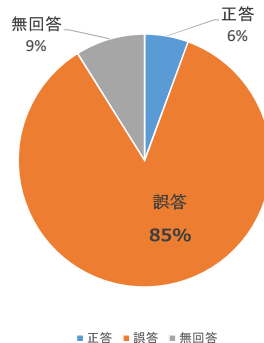
アンケート①の結果 I

Q1 以下のマークを見て、どんな行動をとればよいか知っていますか？



アンケート①の結果 II

Q2 このマークはどんな意味か。



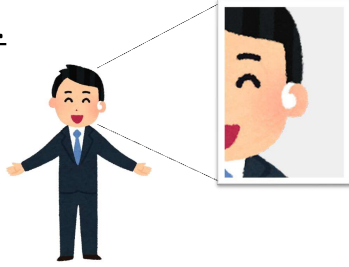
よくあった間違い

- 車いすの人が利用する施設
- 車いすがあるところ
- スロープがある
- 足の不自由な人が使う
- 多目的トイレ

正しい意味は
「障がい者が利用できる建物・施設であることを明確に表す」ための
世界共通のシンボルマーク

今のままだと...

・(例)駐車場で...



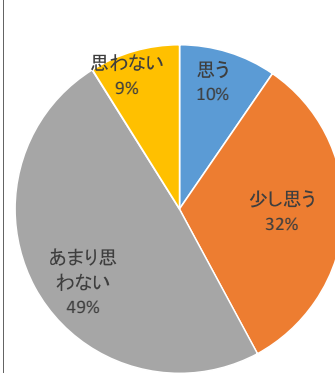
「え！？車いすの人いないよね？
なぜそこに車を停めているの！？」

→「**全ての障害者**」が対象
わかりづらい障害を持つ方でも利用○

アンケート①の結果Ⅲ

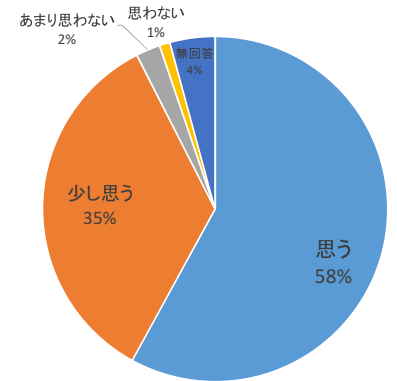
Q3 これらのマークはわかりやすいですか。

■ 思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



Q4 マークをつけている人を気にかけてと思いますか。

■ 思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答



先行研究でわかったこと

・アンケート①から

(1)Q4 「マークをつけている人を気にかけてと思いますか」

→助けたいと思っている人は**多い**

→行動に移せていない？

(2)Q1～2 マークの意味を問う質問

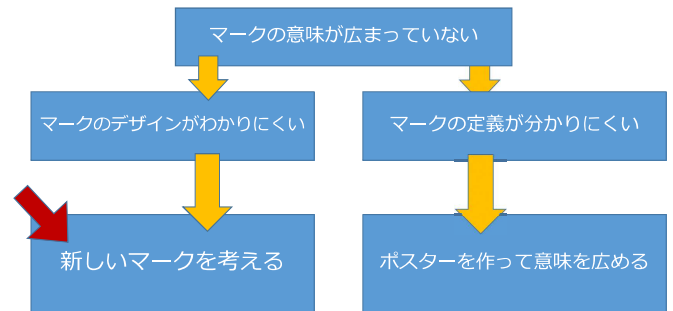
→マークの意味を**知らない**or**勘違い**している人が多い

→マークの意味が**広まっていない**

(3)Q3 マークはわかりやすいか

→「**わかりにくい**」が過半数

研究すべきこと



新しいマークの作成



国際シンボルマーク
障害のある人々が利用できる建築物、
公共輸送機関であることを示す世界共通のマーク
→車いすのマークだと勘違い
→車いすを使わずにこの定義を表現

ヘルプマーク
援助や配慮を必要としていることが外見では分からない人々が
援助を得やすくなるようにするマーク
→抽象的過ぎて分かりづらい
→見えないものを具現化したい！



ハートプラスマーク
心臓、呼吸機能、腎臓、膀胱など
身体内部に障害を持っていることを示すマーク
→少し抽象的でわかりにくい？
→一目でわかるようにしたい！

新たな仮説と問題&アンケート②実施

新しいマークを考えているとき...

①現マークの分かりにくい点は見つかったが

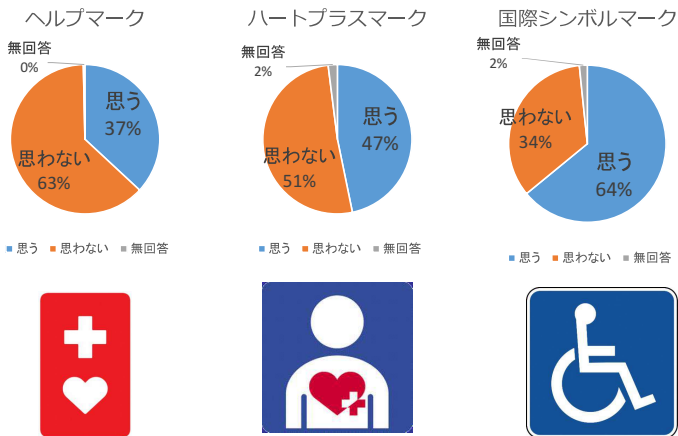
「ではどう直すか」が思いつかない

②正しく意味を理解すると現マークはわかりやすい

→**定義を示した上でマークを見るとわかりやすい？**

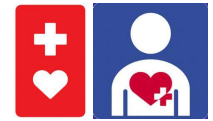
定義を示したうえで分かりやすいと思うかアンケート②を実施

アンケート②の結果



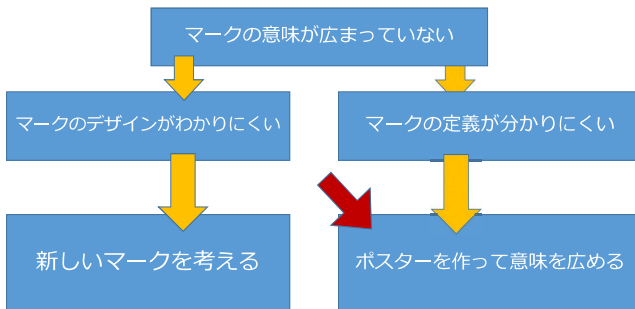
アンケート②の考察

●ヘルプマーク・ハートプラスマーク
→堅苦しい定義では伝わりにくい
→新たにキャッチコピーを考えて意味を分かりやすく伝える！



●国際シンボルマーク
→正しい定義を示すと、理解しやすいと感じる人が多い。
→とにかく正しい定義を分かりやすく多くの人に知ってもら

研究すべきこと



ポスターの作成



展望

●ポスターの効果を調査(アンケート)

- ・認知度↑ 校外にも設置&マーク普及を図る
- ・認知度↓ 再度ポスター作成

まとめ

マークを見る側

→ **知ることと想像すること**

マークを伝える側

→ **伝える手段の改善**

出典・参考

- ・監修:徳田克己 (2013)『ユニバーサルデザインとバリアフリーの図鑑』株式会社 ポプラ社
- ・坂口美佳子 (2020)『人権と自然をまもる法ときまり2 健康と福祉をまもるきまり』株式会社 大月書店
- ・坂下晃祥, 立花直樹 (2011)「障害関係シンボルマークに対する大学生の認知に関する一考察」『総合福祉科学研究』, 第2号, PP.137-152
- ・千葉県 (2021) 障害のある人等に関するマーク・標識 (閲覧日:2021年10月28日) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shoufuku/rikaisokushin/mark.html>
- ・健やか親子21 マタニティマークとは (閲覧日:2021年10月28日) <https://sukoyaka21.jp/maternitymark/regarding>
- ・所沢市 (2020) 障害者マーク (閲覧日:2021年11月25日) <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kenko/syogaifukushi/syogai6/mark.html>